

令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)

岐阜県教育委員会

<趣旨>

病気療養中等の生徒が、安心して学ぶことができる環境を整備する。オンラインに加え、ICT 機器を活用した効果的なオンデマンド型の授業の実施方法について検討する。また、医療機関や学校に向けた研修会、ガイドブックによる広報活動を行い、病気療養中等の生徒の学習保障の必要性を県全体に発信する。

<令和5年度の成果と課題>

○成果 病気療養中等の生徒の学習保障を周知(研修会実施、リーフレット発行)、入院中のオンデマンド型授業の実施(1名)

▲課題 オンデマンド型授業の事例の不足(実践事例の不足、中・長期間の効果、学校側の負担)

オンデマンド型の学習評価(学習到達の確認の方法、課題提出)



<令和6年度> 高校におけるオンデマンド型授業の実施を想定した授業展開例や教材作成、広報活動の継続

<運営組織>

○運営協議委員

大学教員、医療機関、高等学校長、
特別支援学校長、高校教育課

○研究委員

学校管理職、大学教員、医療関係
(MSW、臨床心理士等)、
長良特別支援学校、高校教諭

【運営協議会】(6月、R7年2月)

内容等について検討、研究委員からの
報告、運営協議委員からの指導助言

<研究内容>

Aチーム「ICT機器を活用したオンデマンド型の授業の実践研究」

テーマ : オンデマンド型授業において、各種eラーニングを活用して指導と評価の一体化
をどのように実現するか

内 容 : 指導と評価の一体化を大切にしたオンデマンド型の授業展開例・方法等の検討

メンバー : 大学教員、高校教諭、高校教育課

研究開始 : 令和6年6月～10月

Bチーム「入院高校生の学習保障に関する広報活動」

テーマ : 入院高校生の学習体制を保障するために校内外の支援体制の推進

内 容 : 入院生徒への理解啓発や研究Aチームの取組をまとめたガイドブックの作成

メンバー : 医療関係者(MSW、看護師、臨床心理士)、特別支援学校教諭

発 行 : 令和7年3月